

持続可能なまちづくりを展開

喜び満ちあふれる未来へ

令和4年度施政方針



令和4年度の町政の方向を決める町議会3月定例会議は3月4日から15日まで行われました。会議初日となる4日、鈴木重男町長がまちづくりの重要施策について施政方針を述べましたので、その内容の一部をお知らせします。

新型コロナウイルス感染症が確認されてから丸2年が経過しましたが、依然として感染拡大は収束せず、この先も新型コロナウイルスという見えない敵のリスクを感じながらの生活が続くかもしれませんが、町民の皆さんと一丸となり助け合いながら、この困難を乗り越えて参りたいと思っております。

国は、昨年末、医療体制の拡充、ワクチン接種の推進や経口薬の確保のほか、仕事や暮らしを守り抜くための支援策を盛り込んだ補正予算を確保し、現在、その対策を進めているところでありますが、当町におきましても、3回目

のワクチン接種を2月から開始しており、4月末までには希望する方の接種を概ね終了する予定で進めておりますので、引き続き、感染拡大防止に町民の皆さんのご協力をお願いするものであります。

そうした中、国は、経済再生の要として「新しい資本主義」の考えのもと、持続可能な経済社会の実現に向け、成長と分配の好循環を生み、国民一人ひとりが豊かで、生き生きと暮らせる社会づくりを進めていくこととしております。

特にも、「新しい資本主義」の役割は「地方」とし、デジタルを活用した地方の活性化

や課題解決を進めるため「デジタル田園都市国家構想」を掲げ、未来のサービスを支えるインフラ整備のほか、デジタルサービスの実装に向けた取り組みを加速させております。

また、2050年カーボンニュートラルの実現におきましては、産業構造や国民の暮らしなど、経済社会全体の大変革に取り組むとしているほか、「賃上げ」「人への投資」「生きがいを感じられる社会」「地域活性化」「災害対策」など、多くの分野でこれまでに無い取り組みが進められようとしております。

一方、町では、このコロナ禍を「逆境の時こそ大きなチャンスをつかめる好機」と捉え、国の施策に呼应しながら、これまで町が築き上げてきた「葛巻らしさ」「葛巻だからできる」「葛巻にしかできない

い」というチャレンジ精神に磨きをかけ、さらに積極果敢に取り組むことで、最重要課題である人口減少問題の解決、交流人口・関係人口の拡大、地方創生による魅力ある「まちづくり」を進めて参ります。

現在、経済が低迷し社会情勢も不安定な状況にあります。が、喜び満ちあふれる明るい未来の創造に向け、持続可能な「まちづくり」を展開することで、全ての町民の皆さん

基本的な施策の方向と重点事業

■基本的な施策の方向

町総合計画・基本構想では、まちづくりの基本理念を「幸せを実感できる『まち』」とし、これまで先人が築きあげてきた、大切な財産と先人のたくましい意志を受け継ぎ、町民一人ひとりが主役となり、自助・共助・公助の精神で、将来像として掲げる「未来を協創する 高原文化のまち」に向かい取り組んでいるところであります。

そうした中、令和4年度は「町総合計画・中期基本計画」「第2期町総合戦略」の折り返しの年度となることから、これまでの取り組みを更に前進させ、基本目標に掲げる3つの「まちづくり」が着実に達成できるよう、重点プ

プロジェクトを積極的に推進し、町の最重要課題である「人口減少対策・地方創生」の、より一層の充実・強化を図っていくものであります。

■基本目標の達成に向けた重点事業

令和4年度におきましては、特にも、地域におけるさまざまな課題を解決し、町民の皆様はもちろんのこと、移住者を含めた全ての住民の皆さんが安全・安心、かつ快適に暮らせる環境整備の取り組みのほか、きめ細やかな行政サービスの提供に一段と力を入れて進めるとともに、3つの基本目標を達成するため、各分野において積極的に施策を展開して参ります。

一つ目の「地域資源を活かす」ことについては、基幹産業の新たな展開や商工業の経営革新により、町民所得の向上と若者が魅力を感ずる雇用の創出を図るとともに、町が持つ魅力をより一層輝かせることで、交流人口の拡大はもとより、移住・定住人口の増加を図るため、発酵乳製造設備等整備事業、若

者雇用促進住宅整備事業、除間伐・再造林事業、葛巻町乳牛導入130周年記念事業などに取り組んで参ります。

二つ目の「いきいきと輝き続ける」ことについては、若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえ、次代を担う子どもたちが健康やかに育ち、子どもから高齢者まで、誰もが生きがいを持ち地域で活躍する郷土愛に溢れたひとづくりを進めるとともに、地域産業や「まちづくり」の次代を担う人材を育成するため、くずまき型DMO事業、基幹産業担い手確保支援事業、資格取得助成事業などに取り組んで参ります。

三つ目の「誰もが住みたくは、町が持つ自然、空間を大切にしながら、情報通信技術の活用や道路交通網の整備などにより生活環境の快適性を高め、町での暮らしを求め



る人の流れを創り出し、誰もが心安らぐ快適な生活を送ることができるよう、定住対策・子育て世代移住者のための住宅取得支援事業、全国風サミットinくずまき実行委員会補助、温暖化対策実行計画（区域施策編）策定支援業務、高齢者世帯下水道使用料補助などに取り組んで参ります。